



**育てたい生徒像**

- ① よりよい(地域)社会の創り手として、自分自身を律し責任ある行動がとれる生徒
- ② 新たな価値の創造のために高い理想を持ちその実現に向けて行動し学び(探究)し続けることのできる生徒
- ③ 地域への愛着を基盤に多様な価値観を認め合う共生社会を生き抜くことができる生徒

**道德教育指導目標**

自己の肯定的理解をもとに、自らの進路目標を決定し、目標実現のために他者と協力しながら目前の課題解決に取り組む生徒を育成する。

- ① 自立した学習態度の定着をはかり、肯定的自己理解と自己有用感を感得させる。
- ② 部活動、生徒会活動を通じて他者や役割との関わりを理解し、対処能力を育てる。
- ③ 多様な学びの場、働き方についての理解を深め、自らの進路目標を設定させる。

道德教育学年指導目標		
第1学年	第2学年	第3学年
<p><b>目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校生活での諸活動を通じて、主体的に行動できる人間的基盤を育成する</li> <li>② 学力向上を目指すため、学習習慣(予習・授業・復習)を徹底させる。</li> <li>③ 高い進路目標を設定し、実現に向けて自ら行動できるように支援する。</li> </ol> <p><b>手立て</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 【発信力】【他者理解】諸活動において、自分の考えを伝え互いに尊敬の念をもった集団になるよう、コミュニケーション能力の向上を育成する。 ⇒「しまねのふるまい」</li> <li>② 【学びに向かう力】規則正しい生活と挨拶・号令を励行し、学びにふさわしい環境を作る。</li> <li>③ 【学びに向かう力】ICTを活用し、学級経営に活かすとともに、授業と家庭学習を充実させる。</li> <li>④ 【自己理解】【見通しをもつ力】総合的な探究の時間等を活用し、生徒が自分を見つめ直し将来目標を考える機会を作る。</li> </ol> <p style="text-align: center;">啓発的・体験的学習 (総合的な探究の時間・HR活動など)</p> <p>総合的な探究ガイダンス、スタディサポート、図書館オリエンテーション、図書館文化講座、地域理解学習、大学・専門学校ガイダンス、オープンキャンパス、企業ガイダンス、小論文講座、文理選択について考える、進路講演会、職業人講話</p>	<p><b>目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校生活でのすべての諸活動に積極的に挑戦させ、誠実かつ主体的に行動できる人間性を育成する。</li> <li>② 学力向上を目指し、予習・授業・復習の学習習慣を徹底させる。</li> <li>③ 広い視野で高い進路目標を設定し、その実現に向けて主体的に行動していくことができるよう指導・助言を与え、支援する。</li> </ol> <p><b>手立て</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 【発信力】【協働する力】諸活動において、他者の意見を聞きつつ自らの意見を述べ、互いに尊重しながらコミュニケーション能力を発揮する態度を育成する。</li> <li>② 【自己研鑽力】【学びに向かう力】規則正しい生活と爽やかな挨拶、そして授業で号令を励行し、学びにふさわしい環境を作る。</li> <li>③ 【学びに向かう力】【見通しをもつ力】ICT活用を目指し、chromebook利用を授業や学級経営に積極的に導入し、学習習慣や学校生活を充実させる。</li> <li>④ 【当事者意識】【課題発見解決力】【協働する力】総合的な探究の時間を用いて、探究的学びの方法を習得するとともに、地域と連携しながら協働する精神を養う。</li> <li>⑤ 【自己調整力】【自己理解・肯定力】生徒面談を定期的に行い、進路志望への思いや学校生活の状況を把握し、各生徒に適した情報提供を行う。</li> </ol> <p style="text-align: center;">啓発的・体験的学習 (総合的な探究の時間・HR活動など)</p> <p>総合的な探究ガイダンス、スタディサポート、地域理解学習、大学・専門学校ガイダンス、オープンキャンパス、企業ガイダンス、図書館文化講座、小論文講座、進路講演会、職業人講話</p>	<p><b>目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 他者を尊重する感性や態度および、社会性を伴った行動力の醸成。</li> <li>② 最上級学年としてふさわしい生活態度の育成、および行事、部活動への積極的参加奨励。</li> <li>③ 主体的・計画的・継続的な学習習慣確立支援。</li> <li>④ 個々の能力を最大限に引き出したうえで、最適な進路実現を目指した進路指導。</li> </ol> <p><b>手立て</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 【他者理解・肯定力】HR活動や授業、個人面談時など折に触れ、社会人として要求される人権意識や共感力の大切さについて指導する。規範意識およびセキュリティ管理の指導を徹底する。</li> <li>② 関係者間で密に情報を共有し、チームとして適切な支援や生活指導を迅速に行う。諸活動への取り組みを応援し、生徒を多角的な角度から見て、それぞれの頑張りに着目した声掛けを意識する。</li> <li>③ 【自己研鑽力】教務部、進路指導部、各教科と連携し、家庭学習の状況や授業や課題、テスト等への取り組みを分析して本人にフィードバックするよう心がける。 →当初は最低週20時間、総体後は30時間の学習時間を確保させる。個々が重視する教科の添削指導や補習授業等を各教科にお願いする。早朝登校学習、居残り学習、休日登校学習を強く促す。</li> <li>④ 模試分析を行って各教科に提示し、学力強化策を検討してもらう。進路指導部と連携し、進路検討会結果を有効活用しながら一人ひとりの進路希望や学力、適性などの情報の共有化を図り適切な進路指導を行う。安易な年内早期入学を再考させ、より高い目標に向かうように促す。→国公立大学合格者は30名を目標とする。また、私大、短大、専門学校についても入学に努力を要するランクのものを目標すように促す。</li> </ol> <p style="text-align: center;">啓発的・体験的学習 (総合的な探究の時間・HR活動など)</p> <p>大学・専門学校ガイダンス、オープンキャンパス、企業ガイダンス、図書館文化講座、小論文講座、志望理由書、消費者講座、進路講演会</p>

**教科での取組(生きる力の基盤となる学力の育成)…確かな基礎学力を培い、主体的な学習者を育てる。**

教育を推進するための基盤	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見通した系統的・組織的な進路指導計画</li> <li>○関係諸機関や家庭・地域との連携の強化</li> <li>○ガイダンス機能(適切な情報提供や案内・相談活動)の充実</li> <li>○生徒指導、学年・学級経営の充実</li> <li>○教職員の協働体制の確立と校内研修の実施</li> </ul> <p style="text-align: center;">【令和6年度教職員研修計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント防止</li> <li>・生徒理解(特別支援)</li> <li>・人権・同和教育について(各学期)</li> </ul>	<p>「しまねのふるまい」に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の励行、目上の人への言葉遣い</li> <li>・掃除への積極的参加、ごみの分別収集</li> <li>・公共マナーの遵守、自転車マナーの遵守</li> </ul>